

笠岡市議会 『維新の会』

質問者 天野喜一郎
所属議員 藤井義明
藤本隆文
大月隆司
田口忠義

平成26年度予算編成 について

議員 ①消費税率引上げに伴う市手数料、使用料についての考えをたずねる。

②公共施設等管理計画の策定についての考えをたずねる。

市長 ①景気の動向や利用者の減少等の影響を配慮しながら、変更を最小限の範囲で行いたい。

②財政負担の平準化と合わせて、各地域の実情も勘案し、十分な情報提供を行う必要があると考えている。そのため全庁的な取組みで対応するべきであると考えており、そのような体制を通じて、本市の実情に見合

った計画策定に取り組んでいきたい。

小・中学校規模適正化について

議員 学校規模適正化計画基本方針策定にあたっての基本的な考えをたずねる。

教育長 教科等の学習に加え、学校行事や部活動においても一定規模の集団を確保し、社会性や協調性を築いていくことができるような教育環境の実現が何より重要である。これを念頭に置いた適正化を進めていきたい。

笠岡市立市民病院について

議員 今後の市民病院の方向性についてたずねる。

市長 1点目として、救急受入れ・地域包括ケアシステム等、中核病院としての役割を果たすこと。2点目として、耐震性も考慮に入れた早期の建替えをするこ

と。3点目として、病院事業管理者の人材確保に努め、経営形態等を再編すること。この3点を柱とした運営に取り組んでいきたい。



笠岡市立市民病院

会 清 徳

質問者 三子正秀
所属議員 尾岡裕文
栗森馬仁東

コンパクトシティについて

議員 ①平成26年度予算において、「笠岡港住吉地区整備構想」の実設計委託料が新規に計上されているが、定期船待合所の中に宿

泊施設を整備する事ができないのかたずねる。

②市街地居住を積極的に進めることにより、街のにぎわいを取り戻すことができると考えるが、どうか。

市長 ①現在多目的に利用できる会議室の整備を考えると、宿泊施設については考えていない。

②市街地居住促進は道路等都市基盤の整備、住環境の整備等様々な事業が相まって達成できるものと考えており、今後事業の内容、整備手法の検討を行いつつ進めていきたい。

小・中学校の学校規模の適正化と土曜日登校について

議員 ①複式学級の解消のために、1学年1学級あたりの児童数20名以上の小学校、及びクラス替えが可能な、1学年複数学級を持つ中学校をいつまでに、何校にする予定なのか。

②ゆとり教育見直しに合わ

せ、県下で15市中10市が土曜日授業を実施しているが、本市はどう考えているのか。

教育長 ①現時点で具体案はなく、今後関係小・中学校の保護者や地域の方々と協議を行い、各学校の実情の把握や通学等の条件整備も踏まえながら計画を策定する予定である。

②土曜日学習として「かさおかホリデーチャレンジ学習支援事業」を各小学校区で実施しており、まずはこれを定着させたい。

土曜日授業については、各学校長裁量というところで進めていくが、今後文部科学省が示す次の学習指導要領改訂等を踏まえて、協議を進めていきたい。

